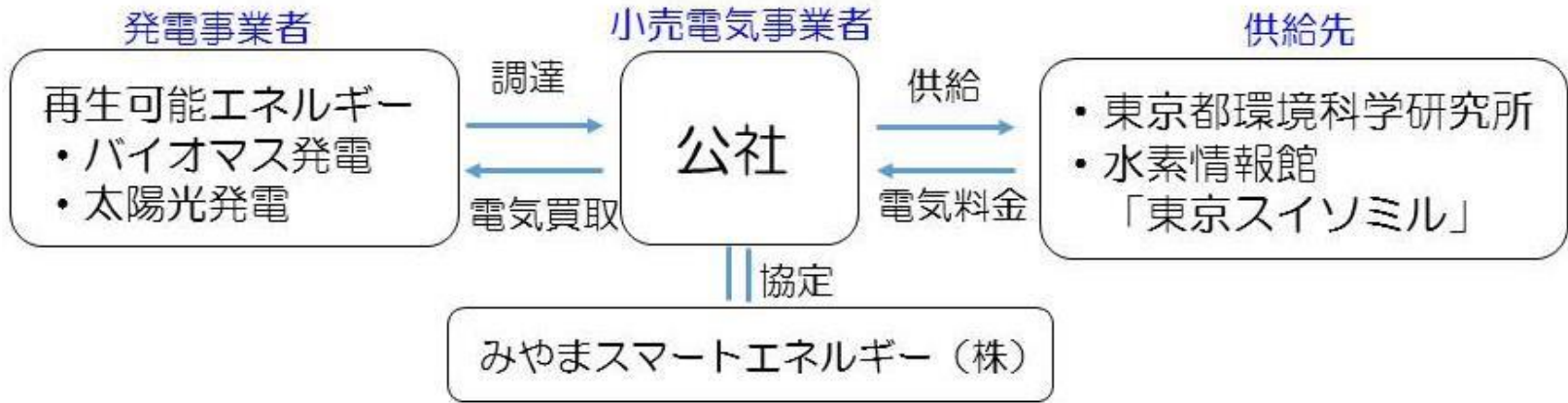


東京都環境公社のFIT電気供給モデル事業

平成28年5月 小売電気事業者として登録 同7月 電気事業開始



目的

ノウハウ提供



再エネ
を活用した
新電力の増加

再エネの
利用促進

公社の事業の発電事業者・協力事業者

発電事業者



バイオマス発電（宮城県気仙沼市）

- ・ 気仙沼地域エネルギー開発（株）
- ・ 地域の間伐材利用



太陽光発電（東京都調布市）

- ・ 調布まちなか発電（株）
- ・ 調布市公共施設の屋根を借りて設置



協力事業者

みやまスマートエネルギー（株）

（福岡県みやま市が55%出資）



地域新電力の状況分析



① 出資方法

- 自治体出資型
(出資金額は数百万がボリュームゾーン)
- 自治体登録・協定型



② 目的

- エネルギーの地産地消 (地域での資金循環)
- 電気料金の低減
- 雇用創出
- 行政サービスの充実
- 再エネ利用促進



③ 需給管理方法

- 自前管理
- 他社委託



④ 自治体間連携

- 電力融通/ノウハウ共有
- 発電地と電力消費地の連携
- 地域新電力への共同出資

再エネを活用した新電力検討のための4つのポイント



①. **需要に見合った電源の確保**



②. **需要（顧客）の確保**



③. **目的の明確化
（目的に沿った運営を）**



④. **協力者の確保**